

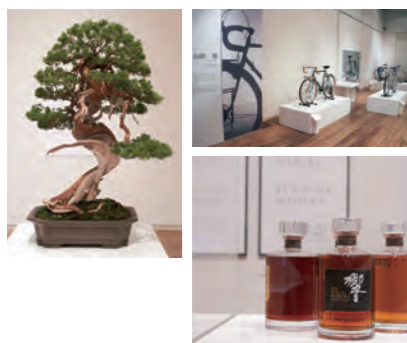
まち×匠×アート

2012年10月7日～11月17日 川口市立アートギャラリー・アトリアほか

埼玉 玉島の南東部に位置する川口市は、かつて鋳物や味噌、植木の生産で栄えた歴史のあるまちです。近年では都市化が進み、多くの工場は高層マンションや大型商業施設へと姿をかえつつあります。しかし、川口には今もなお風土から生まれたさまざまな文化が受け継がれ、また発展しつつあります。それらの文化や歴史、地域性をアートの視点で再発見していただくこと、アトリアでは昨年にひきつづき、SMFとの共催事業として地域の文化遺産を活かした展覧会やワークショップ、まち歩き、鑑賞講座を実施しました。

〔展覧会〕川口の匠vol.2 美しきフォルム
会場：川口市立アートギャラリー・アトリア
10月7日～11月15日

川口市立アートギャラリー・アトリアでは、川口に工房やスタジオを構えて制作や活動をおこなっている匠たちを紹介する展覧会「川口の匠」シリーズの第2弾として、「川口の匠 vol.2 美しきフォルム」を開催しました。今回は飯村靖史さん(盆栽師)、立野竜一さん(グラフィックデザイナー)、山田博さん(自転車製作。東叡社)に着目して、その仕事や完成品などを展示・紹介しました。会場には完成品のほか、普段はなかなか見ることができない制作工程のラフスケッチなども展示し、匠たちの制作に対する熱き想いとこだわりをひしひしと感じていただける内容となりました。



〔ワークショップ〕ドローイング散歩
会場：興禅院・ふるさとの森(川口市安行領家)
2012年10月7日

川口の中でも、特に植木のまちとして有名な安行地区にある「興禅院・ふるさとの森」を会場としておこなったワークショップでは「あなた(私)だけの森をつくろう」というテーマのもと、画家の東田理佐さんを講師に迎え、境内やふるさとの森に生息する樹木を墨でフロッタージュ(擦り出し技法)して作品づくりに取り組みました。ご住職の早船元峰さんから自然界の循環や生態系のお話をうかがい、そのうえで樹木に触れた感触をたしかめながら、フロッタージュした紙の上に加筆やコラージュを加えて作品へと仕上げました。

自然の尊さを体感しながらおこなった今



回のワークショップは、都市化が進む川口の多面性を知る貴重な機会となりました。(参加者：13名)

〔ワークショップ〕ミニ盆栽をつくろう!
会場：喜楽園(川口市大字赤山)

2012年10月13日

川口には、植木の発展とともに盆栽が発展してきた一面がみられます。今回のワークショップは盆栽園「喜楽園」の広大な敷地の一角を会場としておこなわれました。「川口の匠vol.2 美しきフォルム」で匠として紹介した盆栽師の飯村誠史さんとご子息の飯村靖史さんを講師に迎え、盆栽の極意を学びながらミニ盆栽をつくりました。黒松の苗木を手



元に置き、成長してゆく「盆栽」のイメージを膨らませながら枝に針金をかけて枝ぶりを決め、それぞれの作品に仕上げました。今回は「水石(すいせき)」にも挑戦し、小さな器の中に山水の情景を表現しました。

大自然を想像しながら、芸術としての「盆栽」の奥深さに触れるワークショップとなりました。(参加者：12名)

〔鑑賞講座〕アート作品からみる盆栽の魅力
会場：川口市立アートギャラリー・アトリア
2012年10月21日

今回の鑑賞講座では、「川口の匠vol.2 美しきフォルム」でもとりあげた「盆栽」に関連して、さいたま市大宮盆栽美術館学芸員の田



▲三代 歌川豊国(名妓三十六佳撰 龍川)

口文哉さんを講師に迎え、盆栽がはじまったとされる江戸から明治時代にかけて、人びとがどのように盆栽を買い求めて家で楽



しんだのか、浮世絵に登場する図柄を「絵解き」をまじえながら説明していただきました。

後半にゲストとして加わった写真家の大和田良さんには、写真に撮ることで平面作品として盆栽がどのような魅力を持つのかという話をいただきました。盆栽を取り入れたアート作品の鑑賞の多様性や楽しみ方、また魅力について知る機会となりました。(参加者：14名)

〔まち歩き〕銭湯のある街歩き～川口編～
会場：川口駅周辺

2012年11月3日

〔まち歩き〕銭湯のある街歩き～蕨編～
会場：蕨駅周辺

2012年11月17日

川口市内のノスタルジックな一面を体感



するまち歩きツアー第2弾「銭湯のある街歩き」。昨年に引き続き庶民文化研究家の町田忍さんを講師に迎え、川口駅・蕨駅周辺の、昭和のおもむきの残る商店街や路地、工場、銭湯などを見て歩きました。最後には銭湯に入浴し、まち歩きの疲れを癒やしました。

今回は、世田谷美術館の「別冊・銭湯パラダイス」との共同企画ということで、川口はもちろん都内や近郊からも多くの参加者が集まりました。川口を語るうえで欠かせない「昭和文化」について、改めて興味を深めることができたまち歩きとなりました。(参加者：2日間計52名)

川崎久美(SMF運営委員)

